

普及項目	その他
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

## 水産普及活動情報の発信

水産研究センター企画情報室・森下 貴文

### 【背景・目的・目標（指標）】

現場で活動する普及指導員の活動情報は、水産施策上、非常に重要な情報源である。そこで、関係機関が現場の状況を把握し、本県水産業を振興する施策に反映させるために普及指導員の活動情報を県関係機関に迅速かつ効率的に伝えることを目的とし、22報（県下に配置されている11名の普及員が年2回報告）の発信を目標とした。

### 【普及の内容・特徴】

各広域本部水産課の普及指導員が、水産研究センター企画情報室に提供した活動情報を水産普及活動情報としてとりまとめ、関係機関に庁内メールシステムにより情報を発信した。

その内容は、普及指導員による二枚貝の増養殖技術の普及や試験、漁業士会活動への支援等、合計56報であった。

### 【発信した情報】

- (1) 県北広域本部水産課 32報（アサリ、マガキの増養殖指導等）
- (2) 県南広域本部水産課 13報（アサリ増殖指導等）
- (3) 天草広域本部水産課 8報（クマモト・オイスター養殖指導等）
- (4) 水産研究センター 3報（新規就業者研修等）

### 【成果・活用】

関係機関から、「現場の状況や抱える課題・問題点が分かる」、「普及指導員の活動状況や活躍ぶりが分かる」との声が聞かれた。

同じ課題を抱える普及指導員相互の情報交換ができた。さらに、関係者から指摘やアドバイスを受けることで、普及指導員の資質向上や活動の進展が図られた。

### 【達成度自己評価】

- 5 十分に達成され、目標（指標）を上回る成果が得られた（101%以上）

## 水産普及活動情報（R3-55）

名 称 大浜漁協におけるアサリ母貝場造成試験の進捗状況

発信元 県北広域本部水産課（担当者：永田） TEL:0968-74-2154

### 1 背景

県北水産課では、各地で主体的なアサリ母貝場造成の取組みが定着するよう、指導を実施している。大浜漁協において、漁業者とともに事前調査、大野方式網袋（以下「網袋」という。）の作製、土のう式被覆網（以下「被覆網」という。）の設置、被覆網下へのアサリの移植、網袋の分養等を指導してきた。今回、追跡調査結果を報告するもの。

### 2 内容

- 大浜地先に 4m×5m の被覆網を令和 3 年（2021 年）9 月 5 日に 4 網、12 月 1 日に 4 網設置。
- アサリの生息密度は、表 1、表 2 のとおり、被覆網下は若干の減少が見られたものの、対象区と比べて高い保護効果を確認。
- また、現在は水温が低く、餌となるプランクトン量が少ないため、成長が停滞気味となっている。



図 1 調査地点

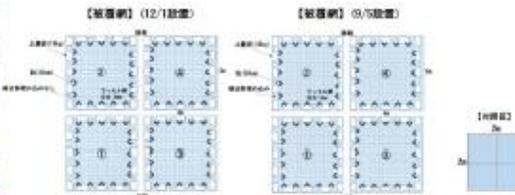


図 2 被覆網設置図（左：12/1 設置、右：9/5 設置）

表 1 9/5 に設置した被覆網の生息密度

9/5 設置時	10/9	11/1	11/16	11/30	12/28	1/17	1/31
①	1,620	1,375	1,775	1,900	1,675	2,150	1,725
②	2,225	2,400	2,750	2,400	2,175	2,325	2,275
③	4,000	3,425	3,150	3,775	2,350	2,800	2,125
④	批定値	3,550	3,950	4,625	3,775	3,225	3,100
対照区	325	100	150	300	100	25	125

表 2 12/1 に設置した被覆網の生息密度

12/1 設置時	12/14	12/29	1/17	1/31
①	720	475	700	950
②	1,010	667	1,000	875
③	未測定	1,420	1,120	1,000
④		1,138	1,275	1,550

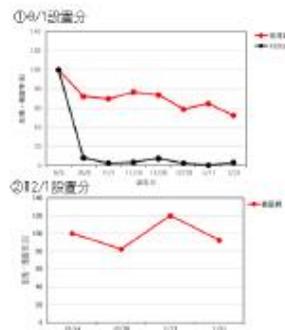


図 3 生残・残留率の推移 (%)

### 3 今後について

2月中旬に追跡調査を実施予定。

図 水産普及活動情報の一例